

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組状況等について

藤沢市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）の開催に向けた気運の盛り上げと、市民参加の推進に取り組んでいます。令和元年度におけるこれまでの主な取組状況と、今後の事業予定等について報告いたします。

### I これまでの主な取組

大会に向けた気運醸成及びセーリング競技の普及啓発を図る各種イベントや、海外セーリングチームとの交流事業の実施、シティキャストフジサワ（藤沢市・都市ボランティア）の募集や「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」による市民参加を推進する取組を進めてきました。

#### 1 大会気運醸成

##### (1) 陸上パラリレー

**実施概要** 2004年アテネ大会、2012年ロンドン大会のパラリンピック陸上競技車いすマラソンに出場された花岡伸和氏から、講演とパラリレーの直接指導を受けた生徒たちが、体育祭当日にエキシビジョンレースとして、パラリレーレースを実施しました。（東京2020オフィシャルパートナーの凸版印刷(株)、日本パラ陸上競技連盟等と連携）

**実施日程** 講演及び事前指導 5月22日（水）

体育祭 5月25日（土）

**実施場所** 大庭中学校

**参加者** 合計587人

内訳：講演537人（全校生徒）

事前指導／体育祭50人（1～3年生から選抜）



##### (2) 世界環境デー東京2020スポGOMI大会

**実施概要** 世界環境デーにあわせ、拾ったごみの質・量を競う「スポーツごみ拾い」を地元市民チームや国連職員チームなどが参加して実施しました。（組織委員会の主催）

**実施日程** 6月5日（水）

実施場所 片瀬海岸東浜  
参加者 38チーム162人（参加チーム限定）



### (3) 東京2020大会「フラワーレーンプロジェクト」

#### ア 種まきイベント

実施概要 東京2020大会期間中に来場者をおもてなしする「フラワーレーンプロジェクト」の実施を見据え、8月17日から江の島ヨットハーバーで行われたテストイベント（「READY STEADY TOKYO -セーリング」）において使用するアサガオ（3校で合計450鉢）の生育に協力しました。（組織委員会の主催）

実施日程 6月17日（月）

実施場所 村岡小・八松小・高砂小

参加者 合計 1,760人（全校児童数）

〔内訳：村岡小530人 八松小710人 高砂小520人〕



#### イ ベニユウ（会場）ツアー

実施概要 村岡小・八松小・高砂小の児童を対象に会場見学及びフラワーレーンの設置体験を行いました。（組織委員会の主催）

実施日程 8月19日（月）

実施場所 江の島ヨットハーバー

参加者 26組52人（児童・保護者）

※ テストイベント期間中の実施のため定員制



#### (4) カウントダウンイベント

##### ア 第3回市長公開記者発表

**実施概要** 2012年ロンドン大会男子200m平泳ぎ銅メダリストで、藤沢市ゆかりのアスリート立石諒氏が、8月3日に実施する「～Tokyo 2020 1 Year to Go!～1年前記念イベント in 藤沢」の告知のため、市役所本庁舎を訪れ、市長とのトークセッションとフォトパネルを使用しての記念撮影などを行いました。

**実施日程** 7月24日(水)

**実施場所** 市役所本庁舎

**参加者** 2020応援団藤沢ビッグウェーブの団員250人

[市長公開記者発表の実績]

第1回：2018年7月24日(火)

東京2020大会2年前記念

三浦大輔氏(2004年アテネ大会野球銅メダリスト)来場

第2回：2018年11月30日(金)

2020応援団藤沢ビッグウェーブ団員登録1万人突破記念

牧野幸雄氏(セーリング競技オリンピック3大会連続出場)・釈由美子氏



(女優) 来場



##### イ 「～Tokyo 2020 1Year to Go!～ 1年前記念イベント in 藤沢」

**実施概要** 藤沢市ゆかりのオリンピックメダリストである立石諒氏をはじめとするオリンピックのほか、ふじさわ観光親善大使のつるの剛士氏、日本テレビアナウンサーの辻岡義堂氏などをゲストに迎え、県内開催4競技の体験イベントなど、大会1年前を記念するイベントを実施しました。(神奈川県と共催)

**実施日程** 8月3日(土)

**実施場所** テラスモール湘南

**参加者** 15,000人

※ 2年前記念イベントの来場者数は、同施設同規模で9,500人



[1年前記念イベントに出演いただいたオリンピック等]

- ・立石諒氏 (ロンドン大会競泳日本代表)
- ・木村沙織氏 (アテネ・北京・ロンドン・リオ大会バレーボール日本代表)
- ・伊勢田愛氏 (リオ大会セーリング日本代表)
- ・GG佐藤氏 (北京大会野球日本代表)
- ・鈴木光広氏 (ソウル大会自転車ロードレース日本代表)
- ・永里亜沙乃氏 (サッカー元日本代表)

#### (5) ふじさわパラスポーツフェスタ2019

**実施概要** 車いすバスケットボール, 車いすを使用した卓球など, 様々なパラスポーツ体験を通じて, 参加者が障がい者のスポーツ活動への理解を深めました。

**実施日程** 9月15日(日)

**実施場所** 秩父宮記念体育館

**参加者** 1,134人



#### (6) パラリンピアン教室

**実施概要** 2016年リオ大会パラリンピック車いすラグビー銅メダリストの若山英史氏を講師に招き, トークイベントと体験会を実施しました。

**実施日程** 9月28日(土) ※藤沢市民まつりにあわせて開催

**実施場所** 秩父宮記念体育館

**参加者** 第1部 トークイベント 130人

第2部 車いすラグビー体験会 50人(定員50人)



## (7) オリンピアン教室

**実施概要** 2004年アテネ大会体操団体金メダリストで、現体操競技男子日本代表監督でもある水鳥寿思氏を講師に招き、トークショーと小学生を対象にした体操教室を実施しました。

**実施日程** 11月3日(日)

**実施場所** 秩父宮記念体育館

**参加者** トークショー 250人

体操教室 60人(定員60人/応募98人)



## 2 セーリング競技普及啓発

### (1) 藤沢市セーリングすごろくの作成・配付等

実施概要 子どもたちを対象に当室職員が発案した、ボードゲーム形式でセーリング競技の知識や魅力を学ぶことができる「セーリングすごろく」を使用し、出張授業を実施しました。

実施日程 5月28日(火)

実施場所 湘南白百合学園小学校

参加者 36人(5年生)



※ 5月中旬より市立小学校・特別支援学校36校、県立藤沢養護学校及び私立3小学校の児童、計約25,000人に配付しました。

### (2) ふじさわセーリングフェスタ2019 in 江の島

実施概要 東京2020大会セーリング競技に向けて、大会のメイン会場となる江の島ヨットハーバーにおいて、誰もが安全に乗船できるユニバーサル艇を用いたセーリング体験会を実施しました。

実施日程 6月8日(土)、6月9日(日)、6月22日(土)

実施場所 江の島ヨットハーバー

参加者 合計139人(うち、障がいのある方7人)

[定員150人/応募239人]



### (3) セーリング特別授業

実施概要 セーリング競技オリンピック3大会連続出場の牧野幸雄氏を講師に迎えて、セーリング艇を用いた陸上体験など、セーリングに関する授業を実施しました。

実施日程 7月5日(金)、7月8日(月)

実施場所 片瀬中(7/5)、秋葉台小(7/8)

参加者 合計625人

[内訳:片瀬中475人(全校生徒) 秋葉台小150人(6年生)]



### 3 海外セーリングチームとの交流事業

東京2020大会テストイベントやセーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019等の国際大会に出場するために藤沢市を訪れた海外チームの選手・関係者と市民交流の取組を積極的に実施しました。

#### 【多くの交流事業を実施可能にした「セーリングサポートプログラム」】

本市独自の取組として、セーリングチーム向けに、トレーニングをサポートするためのプログラムを実施しました。セーリングチームがこのプログラムに登録することにより、市営のトレーニング施設（秩父宮記念体育館・八部公園）を利用可能とし、施設には13言語に対応可能な翻訳機を設置するなど、海外チームのサポートを行いました。サポート活動を通じて、海外チームと市民との交流の機会を数多く設けることができました。



顔写真入りカードを発行

#### (1) スペインチーム×湘南白百合学園小学校

**実施概要** スペインチームと湘南白百合学園小学校の児童が、七夕の短冊に願いを描き、笹に飾り付けを行う交流を実施しました。

**実施日程** 7月12日（金）

**実施場所** 江の島ヨットハーバー

**参加者** スペインチーム（選手及び関係者7人）



#### (2) 香港チーム×湘南学園中学・高等学校

**実施概要** 湘南学園中学校・高等学校の生徒が香港チームを招き、生徒自らが香港をテーマにしたメニュー作りを行い、昼食を囲みながら、食文化を理解する食育交流を実施しました。

**実施日程** 7月13日（土）

**実施場所** 湘南学園カフェテリア

参加者 香港チーム（選手及び関係者 5 人）  
湘南学園中学校・高等学校  
（生徒，保護者及び学校関係者等 150 人）



(3) オーストラリアチーム×藤沢市内外の高校生セーラー

実施概要 オーストラリアチームと藤沢市内外の高校生セーラーが海上での共同練習と陸上でのセーリングレクチャーを通じて交流しました。

実施日程 7月22日（月）

実施場所 江の島ヨットハーバー

参加者 オーストラリアチーム（選手及び関係者 5 人）  
県立藤沢総合高等学校在学中のセーラーほか 11 人  
（合計 12 人）



(4) ノルウェーチーム×長後小学校

実施概要 児童たちがノルウェーチームに応援メッセージやイラストを作成して，チームの機材運搬用のコンテナに貼り付けたほか，競技艇を用いた陸上体験も実施しました。ノルウェーチームから，セーリング用のビブスがプレゼントされました。

実施日程 8月12日（月）

実施場所 江の島ヨットハーバー

参加者 ノルウェーチーム（選手及び関係者 8 人）  
長後小学校（生徒，保護者等 34 人）



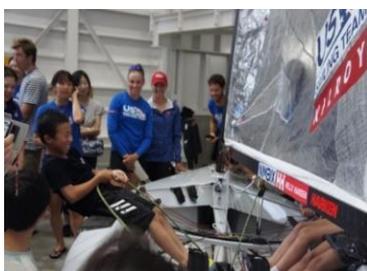
(5) アメリカチーム×天神小学校

**実施概要** 児童たちがアメリカチームに作成した応援メッセージやイラストをプレゼントしたほか、セーリングセンターで競技艇を用いた陸上体験も実施しました。また、チーム関係者が取り寄せている市内農産物のPRとともに、国際大会で江の島を訪れた際に、継続的に食していただくため、農家生産者の方々の協力を得て、枝豆・梨・ぶどうなどの農産物をふるまいました。

**実施日程** 8月23日（金）

**実施場所** 江の島ヨットハーバー

**参加者** アメリカチーム（選手及び関係者20人）  
天神小学校（生徒、保護者等30人）



(6) オーストリアチーム×村岡中学校

**実施概要** オーストリアチームに村岡中学校の生徒が、吹奏楽でのおもてなしや浴衣を着ての盆踊りを披露しました。オーストリアチームの選手の中には、オーストリアの民族衣装を着た選手や浴衣を着た選手もおり、生徒とともに盆踊りを踊り、文化交流を図りました。また、6人の言語コミュニケーションボランティアの方々にも参加いただきました。

**実施日程** 8月24日（土）

**実施場所** 村岡中学校

**参加者** オーストリアチーム（選手及び関係者21人）  
村岡中学校（生徒、保護者及び学校関係者等約100人）



(7) その他（日本文化によるおもてなし）

実施概要 セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019の開会式にあわせて、「ウエルカムフェスティバル」を開催し、選手・関係者に対し、地元江の島の皆様により、江の島ヨット音頭や和太鼓の披露などのおもてなしをしました。また、同時開催で、文化関連団体及び技能職団体のご協力のもと、文化体験や和菓子のふるまいなどのおもてなしブースを出展しました。

- ア 藤沢染物商組合による着物の着付け
- イ 藤沢マイスターによる和菓子のふるまい
- ウ 藤沢市華道協会による華道体験
- エ 藤沢市書道協会による書道体験

実施日程 8月25日（日）開会式終了後  
実施場所 江の島ヨットハーバー  
参加者 64人（16カ国）



【国際交流の映像を公開】

本市では、東京2020大会に向けた市民の取組や市内の様子を記録しており、この度、海外セーリングチームと市内小中高生との交流や、セーリング選手・関係者への文化体験のおもてなしの様など「国際交流」をテーマにした映像を制作しました。

本映像は、藤沢市東京オリンピック・パラリンピック開催準備室の特設ホームページやyoutubeなど、インターネットを中心に公開しています。

映像は下記から視聴可能です

URL (<https://fj-games2020.jp/topics/149/>)

国際交流ver.  
(1分47秒)



過去の作品も下記からご覧いただけます。

URL (<https://fj-games2020.jp/topics/100/>)

2020応援団 藤沢  
ビッグウェーブver.



開催会場  
江の島ver.



※ これら映像を市民向け会議の場、市役所本庁舎、神奈中バス車内のサイネージ、イベントブース等で放映。

## 4 市内アクションプランに基づく取組状況

東京2020大会に直接的又は間接的に関わる本市の施策・事業を体系化した、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた市内アクションプラン」を2017年3月に策定し、様々な施策・事業を推進しています。

### (1) 施策・事業の実施状況

市内アクションプランでは、市民参加型オリンピック・パラリンピックの実現と、未来に向けたレガシー創出に向け、藤沢市支援方針に掲げる「10本の柱」に基づき、様々な施策・事業を位置づけ、取組を推進しています。(今年度までの間に、対象となる全128事業について着手・実施済み)

また、市内アクションプランの掲載事業以外にも、事業の大小や予算の有無に関わらず、各分野において、東京2020大会に関わる取組や、大会を契機とした取組を実施しています。

#### アクションプランにおける10本の柱(大柱)

- 1 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組
- 2 ボランティア等の市民参加に関する取組
- 3 健康増進に関する取組
- 4 文化・教育に関する取組
- 5 産業・観光振興に関する取組
- 6 環境に関する取組
- 7 共生社会の推進に関する取組
- 8 救急・医療体制に関する取組
- 9 安全・安心に関する取組
- 10 周辺環境整備に関する取組

### (2) 東京2020参画プログラムの活用

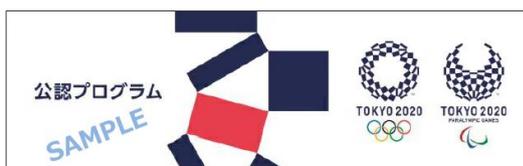
東京2020大会を盛り上げるために組織委員会が実施している「東京2020参画プログラム」を、本市でも積極的に活用しています。

#### ※東京2020参画プログラムとは

大会に向けて様々な組織・団体が行う「おもてなし活動」や「文化活動」等を登録することで、オリンピック・パラリンピックへの多くの人々の参画を可能にする、組織委員会の仕組みです。

#### 【プログラム認証件数】

- 平成28年度： 4件  
平成29年度： 37件  
平成30年度： 56件  
令和元年度： 28件(10月末現在)



## 5 シティキャストフジサワ（藤沢市・都市ボランティア）の概要

「シティキャストフジサワ」の名称につきましては、組織委員会が、「大会ボランティア」の名称を「フィールドキャスト」に統一したことを受け、「藤沢市・都市ボランティア」につきましても、「シティキャストフジサワ」に名称を統一いたしました。

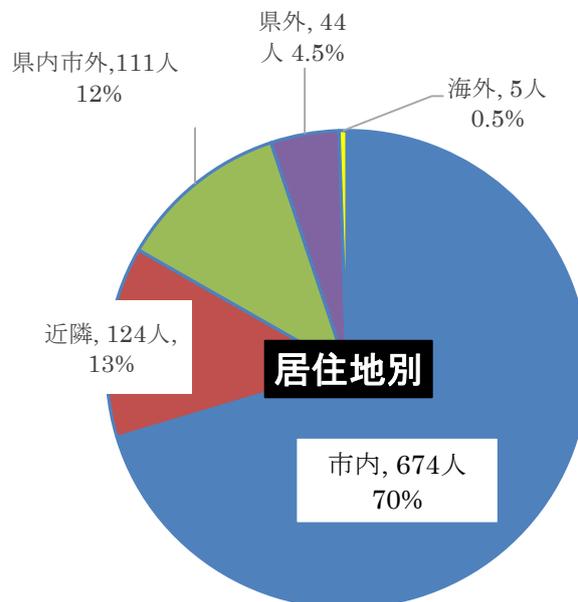
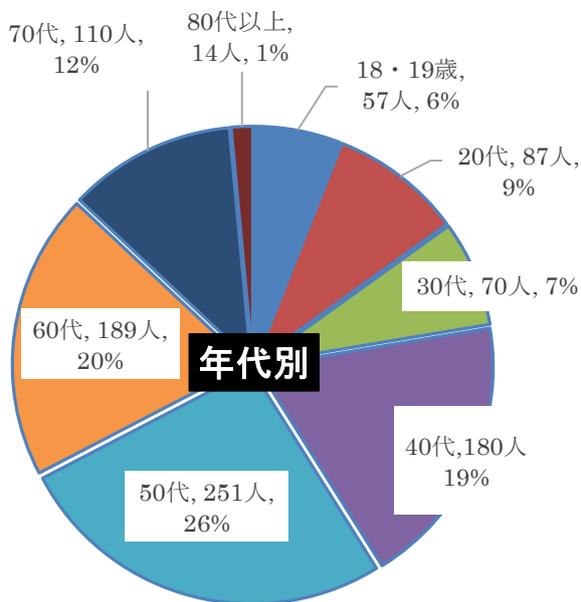
### (1) 応募・登録状況

#### ア 応募状況

	募集人数	応募人数	倍率
1次募集(2018年9月26日～12月7日)	100人	565人	5.65
2次募集(2019年4月10日～ 7月5日)	800人	2,506人	3.13

#### イ 登録状況

- ・リーダー候補 158人（1次選考通過者，外国語観光ボランティアガイド（※）  
※公益社団法人藤沢市観光協会に所属するボランティアガイド
- ・メンバー 800人（2次当選者）
- ・合計 958人



近隣：  
横浜市戸塚区・泉区、綾瀬市、海老名市、大和市、  
鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町

## (2) 研修実施状況

### ア リーダー研修

リーダー候補を対象に、「現場で活動する心構え」「ボランティアリーダーについて」「ユニバーサルマナー講座」「江の島観光ガイドツアー研修」を実施しました。

2019年3月～5月 全3回開催 受講者計401人

### イ キックオフフォーラム

シティキャストフジサワ（藤沢市・都市ボランティア）が一堂に会し、スキルアップやモチベーション向上を目的とした参加型のフォーラムを実施しました。

8月12日（月・振休） 市民会館大ホール 参加者738人

### ウ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019 実地研修

会場までの道順やレース状況の案内、観光案内等、本番大会での活動を想定した実地研修を実施しました。

8月25日（日）～9月1日（日） 8日間 参加者463人

### エ 選択研修

観光、チームワーク、リスクマネジメント、おもてなし、英語、コミュニケーション等のメニューから、関心のある研修を1回選んで受講する選択研修を実施しました。

10月～11月 全12回開催 受講者計859人

### オ 共通研修

オリンピック・パラリンピックの歴史と意義等、大会関連ボランティアが共通で受講する共通研修を実施しました。

11月～12月 全6回開催 受講者226人（1回開催現在）

## 6 「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」取組状況

### (1) これまでの取組状況

11月19日現在の登録者数は、16,189人です。平成30年度は、団員増加と情報発信に努め、団員のイベントへの参加やボランティアとしての参加を推進しました。今年度は、LINEによる情報発信を53回、メールマガジンによる情報発信を28回実施し、引き続き情報発信に努めることで、団員のイベント参加やボランティア参加をさらに増やすことと、アイデアソンで生まれた団員自身による企画の事業化及び団員グループによる事業実施に取り組んでいます。

### (2) 「アイデアソン」の開催

2019年3月23日（土）に開催し、約100人の団員から、10件の企画案と実施グループが誕生しました。その後、7グループの企画が進行し、以下の事業がすでに実施済みです。また、4つのグループについては、「ボランティア企画提案型プロジェクト」への応募を行いました。

#### 【実施済事業】

企画名	日程	概要
みんなで遊行の盆を踊ろう	7月27日・28日	遊行の盆に参加し、「東京五輪音頭-2020-」、「江の島ヨット音頭」を踊る
	9月29日	市民まつりに参加し、「東京五輪音頭-2020-」、「江の島ヨット音頭」を踊る
2020応援ソング	9月28日	市民まつりに参加し、オリジナル応援ソングとパフォーマンスを披露
「浜辺の歌」サンババージョン	9月28日	市民まつりに参加し、サンババージョンにアレンジした「浜辺の歌」を披露
オリジナル紙芝居	9月19日	湘南モールFILLイベントにて、オリジナル紙芝居披露
	9月28日	市民まつりに参加し、オリジナル紙芝居披露



オリジナル紙芝居



みんなで遊行の盆を踊ろう

## 7 ボランティア企画提案型プロジェクトの実施

様々なボランティア活動の活性化や藤沢市のボランティア文化の定着を目的に、市民主体の企画を募集し、予算額200万円に対して28件・約720万円分の応募がありました。ボランティア等市民参加推進分科会で審査した結果、事業区分1の事業が8件、事業区分2の事業が3件採択されました。

### 【応募状況】

区 分	応募件数	採択件数
事業区分1：ボランティア活動（最大5万円）	13件	8件
事業区分2：ボランティアの促進につながる事業 （最大50万円）	15件	3件
合 計	28件	11件

### 【採択事業一覧】

	事業の名称	団体名	事業概要
事業区分1 採択事業	湘南の散歩道をきれいにする会	湘南の散歩道をきれいにする会 他1団体	藤沢駅からオリンピック会場を結ぶ境川遊歩道と周辺公園の清掃・美化活動を行う。
	くげぬまちびっこ市民応援団2020みんなで盛り上げよう！	くげぬまち子育て応援メッセ実行委員会	くげぬまち子育て応援メッセで、東京2020大会手作り応援フラッグを作成する。
	オリンピック関連イベントにお越しになられた方たちに思い出の品をプレゼントする	Fujisawa smiley	着物の端切れを使った小物を作り、ワールドカップイベント会場等で、外国人選手やスタッフ、観光客へ各国語ガイド付きで配布する。
	ヨット音頭でオリンピックを盛り上げる！	江の島婦人部さざ波会	1964年当時に江の島でおもてなしのために踊った「江の島ヨット音頭」を復活し、様々なイベントで踊る。
	光友会ふくし村まつり	ふくし村まつり実行委員会	身体介護が必要な方と一緒に祭りを楽しむ機会を提供し、様々な障がいがある方への理解を深める。また、オリ・パラ啓発ブースを設け、バラスポーツ体験を行う。
	オリンピックで会いましょう	湘南とアジアの若者による未来創造事業実行委員会 他2団体	インドネシアの大学生が国旗パネルを作り「オリンピックで会いましょう」の横断幕とともに写真を撮る。藤沢市内の学校等でも同様の写真を撮り、写真の配布を通して交流を図る。
	2020応援団を遊行の盆で盛り上げる	2020応援団 藤沢ビッグウェーブ 遊行の盆チーム	遊行の盆や市民まつりパレードに、藤沢ビッグウェーブとして「江の島ヨット音頭」で参加し、市民参加型の大会として盛り上げる。
	「2020応援紙芝居」の製作及び公演	藤沢「2020応援紙芝居」を作る会	地元藤沢の民話やオリンピック・パラリンピックに係わる紙芝居を製作し、完成した紙芝居を藤沢市民や外国からの方々に披露することで日本の文化を広める。
事業区分2 採択事業	Fujisawa Beach Cleaning Project・藤沢ビーチクリーンプロジェクト	一般社団法人 SEGO INITIATIVE	ビーチクリーン活動及び国際交流事業を行うことで、外国人と日本人（特に青年）海洋環境美化ボランティアの募集・育成事業を行う。
	#フジサワの高校生プロジェクト	#フジサワキカク	高校生を対象に、仲間づくりをするとともに、情報発信のスキルアップを図ることで、若い世代から藤沢に愛着を持ち、藤沢の良いところ、青春のすばらしさを発信する。この活動が続けることで、藤沢の高校生のネットワークを構築する。
	湘南台駅アートスクエアプロジェクト	湘南台駅アートスクエアプロジェクト	湘南台駅地下広場で子どもの作品展示やコンサート等のイベントを行うことで「芸術広場」とする。また、地域の団体・学校／学生などと連携し、多世代のボランティアスタッフが参加することにより、新たなボランティアネットワークを形成する。

## Ⅱ 今後の事業予定

東京2020大会に向けた市民が喜びや感動を分かち合うための取組として、大会の祝祭感を演出する「シティドレッシング（都市装飾）」、大会期間中に競技中継の観戦や競技体験の場を提供する「ライブサイト」、外国選手団が時差解消や気候順応のために行うトレーニングキャンプを支援する「事前キャンプの受入れ」を実施します。

### 1 シティドレッシング（都市装飾）

シティドレッシングは、組織委員会及び神奈川県と連携して、フラッグ・横断幕等により市内を大会色に装飾し、大会の祝祭感を演出するものです。

実施にあたっては、組織委員会が定めるガイドラインに沿って、県及び市において、役割分担等を行い、今後、必要な調整を実施していきます。

#### (1) 装飾エリアの選定基準

- ア 大会として定めた輸送ルート及び会場周辺（周辺道路含む）
  - ※ 道路は原則として市が管理する路線を対象
- イ ライブサイト会場への誘導ルート
- ウ 事前キャンプ地
- エ 乗降客の多いターミナル駅
- オ その他公共性の高いスペース

#### (2) 装飾エリア

実施エリア	説明
ラストマイル	小田急片瀬江ノ島駅・江ノ電江ノ島駅・湘南モノレール湘南江の島駅周辺
ライブサイト会場	藤沢駅・市役所周辺
事前キャンプ地	善行駅・県立体育センター周辺
主要駅 ※シティキャスト配置駅	辻堂駅・湘南台駅周辺

#### (3) 実施予 positioning 図



(4) 装飾デザイン・イメージ

組織委員会が公表しているデザイン例



※上記デザインを活用したフラッグ・横断幕等を道路照明灯や横断防止柵等に設置

過去大会（2016年リオ大会）における装飾事例



(5) 実施時期・スケジュール

	令和元年度		令和2年度			9月
	12月	1月	4月	7月	9月	
		200日前 (1月6日)	100日前 (4月15日)	50日前 (6月4日)	W杯 30日前 (6月24日)	東京 2020大会
①ラストマイル (片瀬江ノ島駅・ 江ノ島駅・ 湘南江の島駅周辺)	組管許 織理認 委者可 員と申 会の請 調協 整議		掲 出 準 備 の 製 作		装飾の実施 ※オリンピック終了まで	
②ライブサイト会場 (藤沢駅・市役所周辺)					装飾の実施 (大会が近づくにつれて拡大) ※パラリンピック終了まで	
③事前キャンプ地 (善行駅・県立 体育センター周辺)						
④主要駅 (辻堂駅・湘南台駅)						

## 2 東京2020ライブサイト

ライブサイトは、組織委員会との共催で、大会期間中に競技会場外で大型スクリーンによる迫力ある競技中継等を行い、誰もが大会の感動と興奮を共有できる場を提供するものです。

本市では、次のとおり実施を予定しています。

- (1) 実施日程 オリンピック競技・パラリンピック競技が開催される全日程
- |         |                        |
|---------|------------------------|
| オリンピック  | 2020年7月22日～8月9日 (19日間) |
| パラリンピック | 2020年8月25日～9月6日 (13日間) |
| 計       | 32日間                   |

※ オリンピック競技終了後から、パラリンピック競技開始までの期間中は、実施場所において、オリンピック・パラリンピックに関連した企画の実施を検討しています。

- (2) 実施場所 市役所本庁舎(地下イベント広場, サンライズ広場, サンセット広場など)

- (3) 実施概要

項目	実施予定内容
競技中継 (ライブビューイング)	セーリング競技の放映を主体に、藤沢市ゆかりの選手出場試合や人気競技を放映
ステージイベント	オリンピック・パラリンピアンや専門家による競技解説、市民・タレント・著名人等のステージパフォーマンスを実施
競技体験	オリンピック・パラリンピック競技を中心に、気軽に楽しめるコンテンツを実施
大会公式 スポンサー出展	大会公式スポンサーによるブース展開を実施
飲食売店	藤沢産の食材を用いた料理の提供など、地域の特色がある飲食出店の実施 (キッチンカー等を想定)

※ ライブサイトは市役所本庁舎のほか、神奈川県と組織委員会の共催でオリンピック開催期間中に片瀬東浜海水浴場でも開催が予定されています。



ライブサイトのイメージ

(写真提供：Tokyo2020)

### 3 事前キャンプの受入れ

各国のナショナルチームの事前キャンプ受入れについては、オリンピック・パラリンピアンとの市民交流などにより、市民参加型のオリンピック・パラリンピックが推進されるものとして、本市も誘致・受入れに向けた取組を進めており、この度、2019年9月9日にポルトガルパラリンピック委員会と事前キャンプ実施に関する協定を締結しました。

締結式には、シティキャストフジサワの方々も同席し、ポルトガル語での歓迎メッセージを送るなどして、ポルトガル共和国の皆様を歓迎しました。

今後は、同委員会選手団の受入れ対応や市民交流を図っていくほか、ポルトガル共和国以外のナショナルチームの事前キャンプ実施についても、引き続き、誘致・受入れに向けた取組を進めていきます。

#### (1) 事前キャンプ協定締結式

- ア 実施日程 9月9日(月)
- イ 実施場所 神奈川県庁
- ウ 締結者  
(3者) ポルトガルパラリンピック委員会、神奈川県、藤沢市
- エ 参加者 シティキャストフジサワ 21人



ポルトガル語での歓迎



協定書の署名



記念撮影

#### (2) 事前キャンプ実施概要

実施時期	実施競技	使用施設
2020年8月	陸上, ボッチャ, 水泳, 柔道, 自転車ロード, バドミントン, 車いす卓球, トライアスロン 計8競技を予定	神奈川県立 体育センター

※ 神奈川県立体育センターは、2020年4月に「神奈川県立スポーツセンター」に名称が変更され、供用が開始されます。

### (3) ホストタウン登録

ホストタウンは、自治体が東京2020大会に参加する国・地域の選手や人々と、スポーツ、文化などを通じて交流し、地域の活性化などに活かしていく取組で、この度、ポルトガル共和国との事前キャンプ協定の締結を機に、内閣官房にホストタウン登録の申請を行い、2019年10月31日付けで、登録されました。ホストタウン登録により、相手国選手・関係者との交流事業やパブリックビューイングに要する経費などが特別交付税による財政支援の対象となります。

今後は、ポルトガル共和国のホストタウンとして、事前キャンプ実施の支援を行うとともに、スポーツや文化等を通じ、市民との交流事業を行っていきます。

## 4 市民参加の拡充に向けて

シティキャストフジサワについては、18歳以上との年齢制限や、5日以上活動できる方といった制限があることから応募ができなかった方や、応募多数のために落選してしまった方などが数多くいらっしゃいます。

本市としましても、より多くの方々にオリンピック・パラリンピックに関わっていただきたいという基本的な考え方のもと、シティキャストフジサワとして参加することができない方々の協力を得ていきたいと考えております。

今後、東京2020大会の開催に向けて聖火リレー（ミニセレブレーション・セレブレーションを含む）や事前キャンプ、ライブサイトの運営等の取組を進める中で、より多くの方々が参加できる機会を創出していきます。

以 上

(事務担当)

東京オリンピック・  
パラリンピック開催準備室  
内線6312